

脳を守りましょう

けいどがいしょうせいのうそんしょう



MTBI(軽度外傷性脳損傷)

Mild Traumatic Brain Injury

交通事故や外傷などで頭を打ったり、頭が強く揺さぶられたりすると、脳に衝撃が伝わり、脳損傷が起こることがあります。WHO（世界保健機構）の報告によると、30分以内の意識喪失、24時間未満の外傷後健忘（*）を示す脳損傷は、MTBIと呼ばれます。

衝撃が軽度でCT検査などに異常がない場合でも、数日から数週間経って重い症状や長引く症状が現われることがあり、注意が必要です。

* 頭部外傷の受傷後に日常的な出来事をはじめとして新しい情報を覚えておくことができない状態のこと。

主な原因

交通事故



高所からの転落



転倒



暴力



乳幼児への揺さぶりや、スポーツ外傷などでも起こります。

主な自覚症状

～症状には個人差があります～

高次脳機能障害

注意散漫、集中できない、記憶できない、言葉がうまく話せない、理解ができない
情緒不安定

手足の運動障害・知覚まひ

手足の動きが悪い、手足の感覚がにぶい

脳神経のまひ

においがしない、見えにくい、味がしない

自律神経障害

吐き気、めまい、頭痛、睡眠障害

精神・行動変化

依存的、過敏、情緒不安定

てんかん発作

排尿や排便の障害



話せない、理解できない



味が分らない



頭が痛い

理解と支援

MTBIによる症状は外見上では分かりにくいことも多く、現れ方は人それぞれです。日常生活や社会生活のしづらさについて、私たち一人ひとりの理解と支援が求められています。

頭を打った時の対応

MTBI は頭を打ってすぐには症状がなく、数時間から数日、場合によっては、さらに時間が経過してから症状が現れることがあります。

交通事故や転倒などで頭を打った後に次のような症状がある時は、医療機関を受診しましょう。



- 意識状態がいつもと違う
- 手足に力が入りにくい
- けいれん
- 事故前後の記憶がない
- 手足がしびれる
- 吐き気、めまい、頭痛

MTBI の予防

～日頃から頭(脳)を守る生活をこころがけましょう～

- 自転車や車に子どもを乗せるときは、体格に合った**チャイルドシート**を使用しましょう。
- 乳幼児を強く揺さぶらないようにしましょう。
- 自転車に乗るときは**ヘルメット**を着用しましょう。
- スポーツをするときは、**防具**を適切に使用しましょう。
- 運動や体操で**足腰**を鍛え、**転倒**を予防しましょう。
- 転倒防止のための環境を整えましょう。

- ・ 室内の整理
- ・ 手すりの設置
- ・ 段差の解消など



■ お問い合わせ・相談 ■

心身の状態によって、精神障害者保健福祉手帳や身体障害者手帳の対象となる場合がありますので、まずはご相談ください。



精神保健、精神障害者保健福祉手帳に関する相談

- ▶ 板橋健康福祉センター ☎3579-2333
- ▶ 上板橋健康福祉センター ☎3937-1041
- ▶ 赤塚健康福祉センター ☎3979-0511
- ▶ 志村健康福祉センター ☎3969-3836
- ▶ 高島平健康福祉センター ☎3939-8621

身体障害者手帳に関する相談

- ▶ 障がいサービス課
(区役所北館 2 階 11 番窓口)
障がい相談係 ☎3579-2362

相談日時：いずれも月曜日から金曜日、午前 8 時 30 分～午後 5 時（祝日・年末年始を除く）